

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 笹野義春  
 幹事 佐久間良治  
 会報・雑誌委員長 舎人経昭

No. 39

## 人類が私たちの仕事 MANKIND IS OUR BUSINESS

2001～2002年度 RI会長 リチャードD・キング

### きょうの例会

第949回 平成14年 5月21日(火)

#### クラブフォーラム

創立20周年記念事業に向けて 松居実行委員長

### 先週の記録

第948回 平成14年 5月14日(火) 晴

#### ◆“我等の生業”

#### ◆出席報告

会員	70(61)名	出席	44名
出席率	72.13%		
前々回	4月23日(修正出席率)		98.39%

◆ビジター紹介 1名

#### ◆ゲスト紹介

NHK文化センター 岐阜支社長 野田 昇司氏

### 佐久間幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブアセンブリーを開催致しますので、担当の方は鳳凰の間にお集まり下さい。

### 小坂井副会長挨拶

5月9日の中日新聞「中日春秋」の記事をご紹介します。

神さまにあてて米国の子どもたちが書いた手紙の本『かみさまへのてがみ』(サンリオ刊)の一編にどきりとした。谷川俊太郎さん訳で、こんな文面である。

『「かみさま、あなたって ほんとに いるの? そうは おもっていないひとたちも いるわ。もしほんとに いるんなら、すぐに どうにか したほうが いいわよ」。幼い心が神の存在を疑っている。「だって、おかしいことが多いもの」という追伸が聞こえそうだ。ここの「かみさま」はキリスト教の神らしいが、宗派の別を越えて同様に、いやもっと強く感じている子どもが少なくないだろう。ニューヨークで「国連子ども特別総会」が開幕したのを機に、国連児童基金(ユニセフ)の報告書を再読してそんな思いにかられた。むごい数字が並んでいる。この

十年間で二百万人の子どもが紛争で殺された。戦闘に駆り出される子ども兵士は三十万人を越す。十二億人が一日一ドル以下の生活を強いられ、約半数が子ども。貧困のため毎年、肺炎や下痢などで千百万人の五歳未満児の命が奪われていく。米同時テロの影響で延期された特別総会は、子どもを取り巻く状況について、1990年の「世界子どもサミット」後の進展具合を評価し、新たな目標を定めるのが目的だ。この間、前進がなかったわけではないが、貧困、エイズ、暴力の悲劇はなお拡大している。「すぐに どうにか したほうが いいわよ」この忠告の相手は国際社会と受け止めるべきだろう。これを無視すると、なくすのは神ならぬ未来と希望である。』

それぞれ色々な感銘を受けられた事と存じ、あえて蛇足は控え挨拶とさせていただきます。

#### ◆講演

### “日本語の行方”

NHK文化センター 岐阜支社長 野田 昇司氏 (紹介 浅井君)



先日NHKラジオ放送「ラジオ朝一番」を布団の中で聞いていました。「当世新語キーワード」なるコーナーがあり、その中で「トカベン(弁)ヨなおし(直し)ヤツたいじ(退治)」ということばが紹介されていました。「とか」は本来思いつくままに例を列挙する助詞ですが、今は最近の若者に見られる一種のえんきょく用法が目立ちます。

(例)「昨日は一日中テレビとか見ちゃってさあ」(新明解国語辞典)

「よ」は語尾につけてやあのばし気味に発音する

